

胃粘膜下腫瘍切除手術を受けられる()さんへ

入院中のスケジュールです。入院時に持参してください。

月日(日時)	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術直後～集中治療室(SICU)	術後1日目	術後2～3日目	術後4日目～退院日
経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術直後～集中治療室(SICU)	術後1日目	術後2～3日目	術後4日目～退院日
達成目標	◇精神的準備ができています			◇深部静脈血栓症の症状・所見がない ◇合併症の症状・所見がない ◇疼痛のコントロールができています ◇経口摂取が可能な状態である			【退院基準】 ◇合併症の症状・所見がない
治療・薬剤 (点滴・内服)	内服がある方は薬を確認します	手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします	手術着に着替えます 鼻から胃に管を入れます 6時に洗腸します 当日は許可された薬のみ内服します	点滴を24時間行います 酸素マスクをします 背中にも痛みどめの管が入っています	創部の診察があります 内服は再開するときに説明します	点滴を終了します 歩けるようになったら 弾カストッキングを脱ぎます	
処置		21時に下剤(錠剤)を飲みます	血栓予防のために 弾カストッキングをはきます				
検査	血液検査があります				レントゲン・血液検査があります	レントゲン・血液検査があります	
活動・安静度	入院中の行動範囲を医師に確認し、お知らせします。		歩いて手術室へ行きます	手術当日はベッド上で安静にしてください 体位調整をお手伝いします	制限はありません 初回歩行時は、看護師が付添いを行います		
安全	ナースコール、ベッド柵を設置します 運動靴の使用をお願いします						
食事	昼食から常食になります	夕食から重湯になります	朝から絶食です ()時からは絶飲食です		飲水・食事が始まります 昼食から食事(五分粥)が始まります	朝食から全粥になります	制限はありません
清潔	入浴ができます	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面 ・ ひげ剃り(男性)を行ってください		体拭きをします	シャワー浴ができます	
排泄	制限はありません			手術室で尿道(膀胱内)に管を挿入します			
患者様及びご家族への説明 生活指導 服薬指導	病棟内の案内を行います 手術までの流れについて説明します 薬剤師によるお薬の確認があります (薬を持参して下さい) 医師から手術についての説明があります。 麻酔科医の診察があります 手術室看護師の訪問があります ※何か分からないことがあれば、いつでもお尋ねください 必要に応じ担当の医療ソーシャルワーカー(MSW)がお話を伺いながら、転院・退院までの支援を行います	手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください(看護師が預かります) 全ての物にフルネームで名前を記入して下さい 【SICU入室期間の荷物について】 入院時に持ってこられた荷物は一旦お預かりしますので(貴重品以外)手術当日朝までにまとめておいて下さい。	眼鏡・コンタクト・入れ歯・指輪などのアクセサリ類を外してください 化粧・マニキュアは落としてください ご家族どなたか1名ご来院ください 手術中、家族の方は病棟内もしくは4階家族控室で待機してください	麻酔の影響で下肢のしびれや感覚がわかりにくい感じがあります 痛みがある場合は鎮痛剤が使用できます 我慢せずにお知らせください 手術後、集中治療室へ移動します 医師が手術について説明をします	術後1日目に病棟へ戻ります (術後の状況で変更があります) 合併症予防のため痛み止めを使用しながら散歩の時間を増やしていきましょう	退院後の日常生活の注意点などの説明を行います。 合併症予防のため痛み止めを使用しながら散歩の時間を増やしていきましょう	次回外来受診日について、医師から説明がありますので、必ずご確認下さい。 薬剤師より退院処方についての説明があります。 退院後、痛みが急に強くなったり、出血してきた場合は、ご連絡ください。 看護師から退院後の生活について説明があります(日常生活の注意点など)

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 胃・大腸外科 西棟10階病棟

令和5年8月改訂